

④決定方法 編集委員会が理事会、専門家の意見を参考にして決定

⑤採用発表 「鉄と鋼」にて発表予定

⑥謝礼 「鉄と鋼」、「材料とプロセス」2点とも

採用作 15万円

佳作2点 3万円

⑦版権 採用作品の版権は、日本鉄鋼協会に帰属します。

⑧協会のシンボルマーク



⑨その他

1) 印刷工程との関係などで、変更を加えることがあります。また、適当な作品がない場合には採用を保留することもあります。応募作品は返却致しません。

2) 採用デザインを使用する期間は、目次内に毎号デザイン者の氏名を記載致します。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## 平成4年秋季(第124回)講演大会案内

平成4年秋季講演大会は下記により開催されることになりましたのでお知らせいたします。

期日 平成4年10月6日(火), 7日(水), 8日(木)

会場 富山大学五福キャンパス(富山市五福 3190)

講演申込締切日 平成4年7月

### 訂正

論文「熱間圧延における高圧水脱スケール時の衝突圧」、「熱間圧延における高圧水脱スケール時の鋼材の温度低下」(鉄と鋼, 77(1991) 9, p. 1450, p. 1458) の本文について、以下のとおり訂正させていただきます。

	誤	正
p. 1453 左欄下から2行目 p. 1455 左欄上から4行目	$\pm \sqrt{4.60 \times 0.01 / 9} = \pm 0.12$ 式(5)式は、いずれも…	$\pm \sqrt{4.60 \times 0.01 / 3} = \pm 0.12$ 式(5)は、いずれも…
p. 1461 右欄上から7~8行目	次に、前報 <sup>7)</sup> で水流量 $Q$ は一般に、ノズル流水量 $V$ と水圧力 $P$ と関係し、次式で表されることを報告した。 $O. HENNIG$ ら <sup>8)</sup> が求めた低炭素鋼および低合金鋼のケールの脱スケールに必要な衝突圧…	次に、水流量 $Q$ はノズル流水量 $V$ と水圧力 $P$ と関係し、次式で表されることがわかった。 $O. HENNIG$ ら <sup>8)</sup> が求めた低炭素鋼および低合金鋼の脱スケールに必要な衝突圧…
p. 1463 右欄上から18~19行目	また、 $p_{\infty} \leq p_{\text{脱スケール}}$ と $\Delta T_D \leq 17^{\circ}\text{C}$ を同時に満足するものが…	また、 $p_{\infty} \geq p_{\text{脱スケール}}$ と $\Delta T_D \leq 17^{\circ}\text{C}$ を同時に満足するものが…
p. 1463 右欄下から7行目		